

# 寄せ蛾記

埼玉昆虫談話会

YOSEGAKI : Saitama Konchyu Danwakai

## 北朝霧の蝶（1）

矢島嘉和

武藏野線「北朝霧」駅周辺は、ここ2・3年住宅建設や道路整備などの影響で蝶は減少していると思われる。

1976年から1979年にかけて、タテハチョウ、セセリチョウを中心に調査してきたので、その結果をここに報告する。

### タテハチョウ科

#### 1. イチモンジチョウ

発生経過は年3化である。第1化は4月中旬～5月、第2化は7月～8月で、第3化は9月～10月である。

林縁に生育しているスイカズラに多くみられる。卵や初令幼虫をよく見かけるが、成虫はそれほど見かけない。これは、卵・幼虫では寄生による死亡はほとんどなく、終令幼虫に寄生が多いためと思われる。

なお、当地ではアサマイチモンジの生息は確認されていない。

年間最終出現記録は次のものがある。

1♀・1♂ (新鮮) 10-XI-1978.

#### 2. ルリタテハ

1♀ 14-Ⅸ-1976, このノ例のみ。

#### 3. ヒメアカタテハ

最近この蝶は少なくなったという話をよく聞くが、当地ではあいかわらず毎年大発生している。発生のピークは8月中旬～9月上旬で、ゴボウ畑にて多数の幼虫をみかける。

当地で確認した食草は、ハハコグサ・ヨモギ・ゴボウ・ダイズ(ノ例のみ: 1977年7月12日にダイズに産卵するのを目撃、8月1日に幼虫4個体を自宅に持ち帰り飼育したところ、3♀・1♂が羽化。)である。

第1化は6月中旬(早いものとしては、1976年6月1日)で、この頃は林縁や畑に生えているゴキョウ(ハハコグサ)にみられるが、個体数はそれほど多くない。

6月上旬、7月下旬にサナギを多くみかけるから、8月までに第2化が出現するものと思われる。サナギになる場所はさまざまで、エノキの枝(樹高3mで、30cmくらいの高さの枝)、ゴボウの葉裏(ほとんどが茎近くの主脈)、小石の側面(手で握れるくらいの大きさ)、ヒメジョンの葉裏(枯れた茶色くなった葉)、畑の固い柱などで見出せるがゴボウからかなり離れた場所で発見できる。ゴボウ以外を食草とした場合のサナギになる場所の観察例はない。

発生経過は年3～4化と推定される。

越冬態は成虫であるが、サナギ越冬を2例ほど確認している。たとえば、1978年2月2日にゴマダラチョウ幼虫を採集中、エノキの幹で本種のサナギを発見、5月20日にすでに羽化したのを確認。また、同年4月25日にゴボウ畑の近くのコーラ自動販売機の裏でサナギを発見、4月27日に羽化を目撃。

#### 4. アカタテハ

1977年までは林縁のヤブマオ・コアカソで幼虫・サナギを見かけたが、道路整備で絶滅した。次の採集標本がある。

1♀・2♂ 4-Ⅸ-1976

3♂ 15-Ⅸ-1977.

#### 5. ミドリヒョウモン

個体数は少ないが毎年みかける。1978年3月15日に幼虫ノ個体を採集、タチツボスミレで飼育したが寄生されていた。2♂ 4-Ⅸ-1976, 1♀ 12-Ⅸ-1976, 2♀ 3-X-1978. (つづく)

## 埼玉県動物誌に追加する蛾類の記録

市川 和夫

筆者は昨年の秋に、福島義一（県立秩父農工高校）氏から大型ドイツ箱／〇箱分の多数の蛾の同定を依頼されたが、その内のヤガ科などでわかり難いものは杉繁郎氏にご教示を受けるなどして、大部分の種名を決定しお返しすることができた。（標本は秩父郡横瀬村教育委員会が保管）

これらの蛾は、1978・1979の両年、主として埼玉県秩父市の武甲山とその周辺、および秩父郡皆野町の美の山で採集したものであるが、その中に10種の埼玉県未記録の蛾と、他にニホンセセリモドキがあったので、ここに「埼玉県動物誌」に追加する蛾類の記録として発表する。

貴重な、しかも多量の採集標本を見る機会を与えて下さった福島義一氏に深謝するとともに、これら標本の保存と、早い時期にすべての採集品が記録されることを期待します。

以下、種名の前の番号は、埼玉県動物誌（1978）に発表した蛾類の目録にある各科または各亜科ごとの種の番号の続きである。また、採集者は特記なきものはすべて福島義一氏である。

## (1) 埼玉県動物誌に追加する種

## S P H I N G I D A E スズメガ科

39. ミスジビロウドスズメ *Rhagastis trilobata* MATSUMURA

美の山, 1ex. 23-VII-1978.

この蛾は昆虫大図鑑（I）などに記載されていないが、ビロウドスズメとは羽の色彩や模様で明らかに区別できる。1971年には蛾類通信（65）：69、さらに、1972年に蛾類通信（72）：97に記事があること、また精細については次の印刷物を杉繁郎氏にみせていただいた。HIROSHI INOURA (1973) An annotated and illustrated Catalogue of the Sphingidae of Taiwan (Lepidoptera), Bull. Facul. Domestic Sci. Otsuma Woman's Univ., No. 9.

この記録とは別に、筆者は次の標本を持っている。

秩父郡大滝村川又, 1ex. 31-VII-1973 (市川採集・保管) ……未記録。

## N O C T U I D A E ヤガ科

(ケンモン亞科 Acronictinae)

22. キシタケンモン *Acronicta catocalioida* GRAESER

武甲山頂, 1♀ 26~27-VII-1978. 全国的に採集例が少い種である。

(モンヤガ亞科 Noctuinae)

38. ハコベヤガ *Amathes kollaris plumbata* BUTLER

武甲山頂, 1♂ 31-VII-1979.

(シタバガ亞科 Catocalinae)

99. カバフヒメクチバ *Araeognatha cineracea* BUTLER

美の山, 1♀ 22~23-VII-1978. 平地で採集例の多い暖地性の蛾である。以上で埼玉県産ヤガ科は476種となる。

## G E O M E T R I D A E シャクガ科

(ナミシャク亞科 Larentiinae)

101. ミカズキナミシャク *Amoebostricha correlata* WARREN

美の山, 1♂ 22~23-VII-1978. 関東以西の山間部で4月に出現するがあまり多くない、といわれているが、今回7月に採集されたので、年2化と思われる。

(エダシャク亞科 Ennominae)

180. チャオビオエダシャク *Semiothisa liturata depressa* INOUE

武甲山頂, 1♂ 31-VII-1979.

181. ロフオオシロエダシャク *Pogonopygia nigrabata* WARREN  
武甲山頂, 1♂ 25~36-VII-1978. 関東以西に多いといふ。
182. ヒロオビエダシャク *Duliophyte agitata* BUTLER  
美の山, 1♂ 22~23-VII-1978. 以上で埼玉県産シャクガ科は353種となる。

## PYRALLIDIIDAE メイガ科

(マダラメイガ亜科 Phycitinae)

15. ヤマトマダラメイガ *Nephopteryx intercisella* WILEMAN  
武甲山頂, 1♀ 31-VII-1979

## HEPIALIDIIDAE コウモリガ科

3. シロテンコウモリ *Palpifer sexnotatus* ronin PFITZNER  
三沢(秩父郡皆野町), 1♂ 21-VII-1979

## (2) 産地を追加する種

## HYBLAEIDIIDAE セセリモドキ科

1. ニホンセセリモドキ *Hyblaea esakii* SUGI  
羊山(武甲山のふもと), 1ex. 5-V-1978. 埼玉県の既産地は、中津川、柄本、三峰山ろく、熊倉山ろく、浦山谷で、海拔400~800mの低山帯である。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

短報

ウラギンヨトウ埼玉県で採集  
市川和夫

昨夏、南部敏明氏が採集された若干の蛾の中に、從来関東以北では採れていないヤガを見出したので、埼玉県動物誌に追加する種としてここに記録する。

(ヨトウガ亜科 Hadeninae)

53. ユラギンヨトウ *Leucania pryeri* LEECH  
越生(埼玉県入間郡越生町), 1♂  
1979年8月20日 南部敏明 採集, 筆者保管,

熊倉山で  
ツマジロウラジャノメ  
加藤輝年

熊倉山北腹(秩父郡荒川村), 1♀ (新鮮)  
1972年8月27日 筆者 採集・保管。  
以上、記録のない産地なので報告してお  
く。  
他に同日同地で次の蝶を採集している。  
ヒメキマダラヒカゲ 1♀ (汚損)  
ルリシジミ 1♂ (新鮮)。

## ウラギンシジミの記録

巣瀬司

埼玉県内での秋季におけるウラギンシジミの採集・目撃記録は、近年増加しているようと思われますが、筆者も1979年10月に本種を採集・目撃しましたので報告します。

北本市下石戸下, 1ex. 8-X-79 (目撃)  
桶川市南2丁目, 3♀ 22-X-79 (採集)  
上尾市中妻, 1♀ 22-X-79 (目撃)

このうち桶川市の3♀は、すべて腐ったイチジクの果実に飛来した新鮮個体でした。

浦和でウラギンシジミ  
を目撃

市川和夫

昨秋はウラギンシジミの目撃例が相次いだが、筆者も市街地で新鮮な個体を目撃しているので、報告する。  
浦和市領家5丁目(県立浦和高校西側路上)  
1♀ 4-X-79 (目撃)。この年は9月中旬から10月3日まで雨の日が多くかった。

## 1979年の採集記録より

碓井 徹

1979年に行った埼玉県内の採集行から、いくつかの蝶の採集記録を発表します。記録に使われている記号は、○…新鮮個体、◎…やや汚損した個体、◎…かなり汚損した個体、を表わしています。

## ミヤマチャバネセセリ

1♂ ○, 上尾市平方 25—IV—1979.

## ウスバシロチョウ

1♂ ○, 堂平山 3—V—1979.

2♂ ○, 両神村白井差 5—V—1979.

1♂ ○, 1♀ ○, 両神村日向大谷 5—V—1979,

3♂ ○, 両神山出原 6—V—1979.

5♂ ○, 飯能市小床 11—V—1979.

5♂ ○◎, 大滝村入川 3—VI—1979, (川又から小赤沢あたりまで広範囲に見られた)。

## スギタニルリシジミ

1♂ ○, 大滝村中津川 3—V—1979.

1♀ ○, 両神村白井差 5—V—1979.

1♀ ○, 両神村出原 6—V—1979.

## コツバメ

数頭 (目撃), 大滝村三国峠 (標高1730m)  
3—V—1979.数頭 (目撃), 大滝村八丁沢 (両神山北西部 標高1150m) 6—V—1979.  
(標高の高い所での記録としてここに記録しておきます) .

## ヤマキチョウ

1♂ (越冬個体), 大滝村入川小赤沢出合  
3—VI—1979.

## モンシロチョウ

2♂ ○ (夏型), 大滝村中津川大山沢出合  
5—VII—1979.

## ミヤマセセリ

数頭 (目撃), 大滝村三国峠 (標高1730m)  
3—V—1979.

## ニホンセセリモドキ

1頭 (目撃), 大滝村八丁峠 (標高1150m)  
3—V—1979.  
(写真撮影をしようとして、かなり接近して確認したものである)

## コミスジの越冬幼虫の地上への移動

加藤輝年

コミスジの越冬幼虫が、食草根ぎわの落葉に付いた状態で冬を越すことは観察されているが、幼虫自身が食草を降りるのか、それとも葉ごと食草から落下するのかは、手元の文献を見た限りでは、どうやら確認されていないらしい。

1979年、飯能市坂石町分の自宅の庭に植えている高さ70cmあまりのフジにコミスジの越冬世代が発生した。10月下旬ごろ見た時には明らかに令数の異なる大小の幼虫が見られたが、その内に大型の幼虫又頭だけになってしまった。

11月23日には2頭とも付け根をかじって枯らした小葉(かじった部分に吐糸してあるので小葉は落ちない)に静止していた。24日は

小雨だったが観察しなかった。翌25日の朝見たところ、1頭は葉(複葉)とともに地上に移っていた。2頭とも前々日静止していた小葉に付いたままなので、地上の幼虫は葉ごと落下したものにまずまちがいない。食草上に残った1頭も、1週間後の12月3日に見たところ、いつも静止していた小葉に付いたまま葉ごと地上に移っていた。

日本産 *Neptis* のうちでは異例の地上越冬が知られているコミスジだが、これは他律的ともいべきもので、習性の進化という観点では、越冬場所の違いはほとんど重要な比較資料とはならないようである。

(〒357-02 飯能市坂石町分 118)

## 埼玉県産半翅類雑記 (2)

野沢 雅美

## 1. 長翅型3種の例

通常、無羽あるいは短翅型で知られる3種類について、長翅型を得たので整理しておく。

## サシガメ科

- (1) ハネナシサシガメ *Velinoides dilatus* MATSUMURA

名前のとおり一般的には無翅型として知られるが、秩父市浦山に在住の中山氏が採集された標本の中から、本種の長翅型の個体を見ることが出来たので記録しておく。

秩父市浦山 広河原 25-VI-1979 (中山登喜夫氏採集)

- (2) クロモンサシガメ *Pirates turipes* WALKER

この種は、さまざまな頭長の個体が見られるが、短翅型が一般的で、長翅型はきわめて少ない。地際生活。

児玉郡児玉町金屋 (県立児玉農工高校内) 25-VI-1976

## アメンボ科

- (3) シマアメンボ *Metrocoris histrio* (B. WHITE)

アメンボ科の中においては、特徴ある形態を有する。これまで皆野町(日野沢、三沢)、武甲山、横瀬村等の山地の溪流の水が流れ落ちる地点で得られている。これらの個体はすべて無翅型であったが、このほど長翅型を3個体採集することができた。

山道のくぼ地にできた降雨による小さな水たまりで、2メートルほどの所に道に沿って沢が流れていた。長翅型は比較的まれということであるが、8月以後は少なくないという。

寄居町 円良田 (鐘ヶ堂山へのコースに入った所) 12-VII-1979, 3 exs.

## 2. クロサンガメの採集例

クロサンガメ *Pirates cinctiventris* HORVATH の埼玉県における記録は、'62年(鳥巣)、'73年(川本町)が確かなもので、これは3個体目となる。雑草間の地際を歩行していたもの。

児玉町 金屋 (県立児玉農工高校内) 23-VIII-1979.

× × × × × × × × × × × ×

スジボソヤマキチョウ  
の交尾

加藤 遼年

1976年8月21日、秩父郡大滝村前白岩山(薄曇り)、13時少し前、低木のまわりを飛んでいたスジボソヤマキチョウの♀が繁みの中に姿を消したので、すぐ近づいてみたところ、低木の葉裏で交尾していた。

交尾飛しょう形式を確かめようと思い、枝ごと手元へ引寄せてゆすってみたが、交尾直後であったためか、古が古にぶらさがった状態になっただけで飛ばなかった。

## 埼玉の虫かご

- (1) ホソオチョウ (朝鮮半島産亞種)  
を本会々員も陣馬山で採集しています。  
いずれ正式に発表されるはずです。
- (2) クロツバメシジミの土着が、つい  
に山田仁(東京大学理学部附属小石川  
植物園、助手)氏により確認されました。  
群馬県との県境で、詳細は「昆虫  
と自然」をご覧ください。14, 14; 17。
- (3) ヤノヤチョウは森本博(1979)およ  
び種忠雄(1990, 本誌)により、本県で  
も確実な記録がされました。(市川)

## 埼玉県の蝶に関する覚え書き (1)

碓井 徹

## はじめに

1978年3月に埼玉県教育委員会によって発行された「埼玉県動物誌」の中の、市川和夫・原聖樹両氏による「埼玉県の蝶類」は、その巻末に、1866年から1976年の間に発表された県内の蝶に関する241の文献のリストを掲げている。

筆者は、この文献リストを土台として主に1977年以後に発表された県内の蝶に関する文献を、／年ごとにまとめてみようと考えている。もちろん1976年以前のもので前記のリストからもれていたもの、あるいはこの／年ごとの覚え書き以後入手できた文献などについては、補遺という形で追加発表をしてゆきたい。なお、文献の取捨選択については、前記リストの基準を踏襲しているので「埼玉県動物誌」の292ページを参照されたい。

また、前記リストには241番までの文献に通し番号がついているが、ここでは補遺による割込みを考慮して番号は付けないでおく。今後、5年あるいは／0年単位でまとめる機会にでも付けたいと思う。

## (2) 1977年(昭和52年)の文献目録。

- 加藤 輝年 (1977) 奥武藏・秩父のウラクロシジミ分布資料 (I), 昆虫と自然 12 (1) : 9.  
 松井 安俊・松井 英子 (1977) ウラナミシジミは今年も移動したか?, 昆虫と自然 12 (1) : 20.  
 信太 利智 (1977) 飯能で採集したセセリチョウ数種の幼生期の記録 (I), 寄せ蛾記 (20) : 143  
     - 150.  
 原 聖樹 (1977) 入間川堤防におけるシルビアシジミ・ミヤマシジミの探索, 寄せ蛾記 (20) : 151.  
 松本 和馬 (1977) 浦和のトラフシジミ健在, 寄せ蛾記 (20) : 153.  
 - (1977) イチモンジセセリの群移動を見る, 寄せ蛾記 (20) : 156.  
 - (1977) 1976年のウラナミシジミ埼玉に飛来, 昆虫と自然 12 (12) : 29.  
 山中 一男 (1977) ヒメウラナミジャノメ (読者のフォト), インセクタリウム 14 (3) : 14.  
 市川 和夫 (1977) 埼玉の動・植物調査報告 リンシ類(蝶類)調査報告, 埼玉生物 (17) : 37.  
 斎藤 良夫 (1977) 深作沼生物調査中間報告 蝶の項 : 28-29.

## (3) 1978年(昭和53年)の文献目録。

- 松崎 鉄藏 (1978) 1月にモンキチョウを目撃(行田市にて1月20日), 昆虫と自然 13 (2) : 22.  
 信田 利智 (1978) 飯能で採集したセセリチョウ数種の幼生期の記録 (II), 寄せ蛾記 (21) :  
     157-160.  
 原 聖樹 (1978) 川越市古谷でウラキンシジミを目撃, 寄せ蛾記 (21) : 160.  
 加藤 輝年 (1978) 奥武藏の蝶6種の記録, 寄せ蛾記 (21) : 163.  
 - (1978) 秩父・武甲山の蝶 (I), 寄せ蛾記 (22) : 172-176.  
 - (1978) ツマキチョウの蛹化場所の1例, 寄せ蛾記 (22) : 176.

(1) 市川和夫・原 聖樹 (1978) 埼玉県の蝶類, 埼玉県動物誌: 259-298, における文献リストの訂正.

文献番号	誤	正
93.	手東 善洋	手東 喜洋
136.	ゴマダテチョウ	ゴマダラチョウ
182.	浦和生物部	浦高生物部
205.	小暮 翠	木暮 翠
213.	ルシビアシ	シルビアシ
323.	雑記帳	雑記蝶
338.	寄せ蛾記 (20)	寄せ蛾記 (19)
241.		(この文献は削除)

以上の正誤表が別刷には添付されているので、本誌を購入された方は訂正されたい。結局、市川・原 (1978) による文献リストは 240 ということになる。

なお、1976年以前の文献で、リストアップされていないものがありましたら、著者あるいは筆者まで是非ご教示ください。

市川 和夫・原 聖樹 (1978) 埼玉県の蝶類, 埼玉県動物誌 : 259-298.

平山 洋人 (1978) 採集地案内—浦和市秋ヶ瀬公園, 月刊むし (87) : 20-21.

猪又 敏男 (1978) キマダラルリツバメ物語 (I), 月刊むし (88) : 3-10.

④ この文献には各地の本種の標本写真の中に、埼玉県で唯一の採集個体（大野正男氏採集 国立科学博物館蔵）の鮮明な写真が掲載されている。

平山 洋人 (1978) 浦和市でシータテハを採集, 月刊むし (89) : 31.

山田 兼則 (1978) ウラヤンシジミの目撲例, 寄せ蛾記 (23) : 183.

水室 美芳 (1978) 5・6月の採集記録, 寄せ蛾記 (23) : 184.

加藤 輝年 (1978) ヒオドシチョウの生態に関する小観察, 寄せ蛾記 (23) : 184.

松本 和馬 (1978) 上尾市上野附近の蝶, 寄せ蛾記 (23) : 186-187.

桜井 犀 (1978) 埼玉県のムラサキツバメ, ちょうちょう 1 (9) : 61.

④ これは狭山市で6月20日に本種の死亡個体を1頭拾った、という内容の短報である。この中で桜井氏は、この個体が人為的に当地へ運びこまれたのであろう、と述べている。

松本 和馬 (1978) ヒメアカタテハの産卵植物について, 寄せ蛾記 (24) : 193.

原 聖樹 (1978) 上江橋付近でキンイチモンジセセリ, 寄せ蛾記 (24) : 193.

加藤 輝年 (1978) 秩父・武甲山の蝶 (2), 寄せ蛾記 (24) : 196-198.

星野 正博 (1978) 県南部の珍らしい記録, 寄せ蛾記 (24) : 198.

碓井 徹 (1978) 埼玉県での1978年のウラヤンシジミの記録, 昆虫と自然 13 (13) : 30.

市川 和夫 (1978) ミドリシジミの蛹化場所はハンノキ林の樹下落葉中, 昆虫と自然 13 (13) : 29-30.

星野 正博 (1978) 埼玉県南部におけるミドリヒョウモン, 昆虫と自然 13 (13) : 30.

④ 昆虫の自然 13 (13) : 29-30 は同好会の紹介として「埼玉昆虫談話会」についての記事がある。寄せ蛾記はNo. 23 から本号と同様のタイプ印刷の形式となる。

#### (4) 1979年(昭和54年)の文献目録

松井 安俊・松井 英子 (1979) 古利根川流域—久喜、幸手、杉戸—の蝶の覚え書 (1), 寄せ蛾記 (25) : 199-203.

松本 和馬 (1979) ミヤマチャバネセセリの一記録, 寄せ蛾記 (25) : 203.

— (1979) ウラヤンシジミの目撲記録, 寄せ蛾記 (25) : 203.

斎藤 晃 (1979) 和光市でウラヤンシジミを採集, 寄せ蛾記 (25) : 203.

荻島 和美 (1979) 低地におけるミドリヒョウモンの記録, 寄せ蛾記 (25) : 203.

市川 和夫 (1979) 浦和でミドリヒョウモン, 寄せ蛾記 (25) : 203.

— (1979) 1979年モンシロチョウの初見日, 寄せ蛾記 (25) : 208.

本多健一郎 (1979) 東京近郊におけるスジグコシロチョウの生活, 昆虫と自然 14 (4) : 22-26.

水谷 篤 (1979) ヒオドシチョウの異常型, 昆虫と自然 14 (4) : 35.

— (1979) トラフシジミの第3化の個体を採集, 昆虫と自然 14 (5) : 28.

清水 誠・市川和夫 (1979) 自然観察の小径 (2) 田島ケ原サクラソウ自生地と秋ヶ瀬自然公園, 遺伝 33 (4) : 88-97.

森本 博 (1979) 埼玉県におけるヤマキチョウの記録, 月刊むし (101) : 38.

— (1979) 埼玉県におけるキバネセセリの追加記録, 月刊むし (102) : 39.

市川 和夫 (1979) 関東地方におけるクロツバメシジミの生息地の記録, 昆虫と自然 14 (14) : 18.

松井 安俊・松井 英子 (1979) 古利根川流域—久喜、幸手、杉戸—の蝶覚え書 (2), 寄せ蛾記 (26) : 209-212.

— (1979) ゴマダラチョウの生態ノート, 寄せ蛾記 (26) : 317-318.

碓井 啓 (1979) モンキアガハは埼玉県に土着するか, 寄せ蛾記 (26) : 313-315.

萩島 和美 (1979) ゴマダラチョウの樹上越冬に関する二、三の観察例、インセクタリウム 16 (5) : 18-19.

とりあえず今回は1977年から1979年にかけて発行された「昆虫と自然」「月刊むし」「寄せ蛾記」「インセクタリウム」「ちょうちょう」「蝶」のすべてに目を通し、埼玉県内の蝶に関する報文などをリスト・アップしてみた。他の雑誌等をご覧になって、このリストから脱落しているものがありましたら、ご教示頂ければ幸いです。

(〒362 上尾市 向山 261~9)

## 奄美大島の蝶類

山崎正則

1979年4月14日・15日の両日、奄美大島中部地区(城、新村、小湊)において、次の蝶を採集・目撃したので報告する。

### セセリチョウ科

1. オオシロモンセセリ 1♀, 14-IV 城。  
各地とも少數ながら目撃。
2. チヤバネセセリ 1♂, 14-IV 城;  
1♀, 14-IV 新村。るの表面の白斑は完全に消失している。
3. アオバセセリ  
各地とも目撃のみ、個体数は少ない。
4. オキナワヒロウドセセリ  
1ex., 15-IV 小湊(目撃)。

### アゲハチョウ科

5. モンキアゲハ 2♂・1♀, 14-IV 新村;  
1♂, 15-IV 小湊。
6. ナガサキアゲハ 1♂, 14-IV 新村;  
2♂・2♀, 15-IV 小湊。  
1♂は形の異常型である。
7. アオスジアゲハ 2♀, 14-IV 新村。
8. ジャコウアゲハ 2♂, 14-IV 新村。
9. カラスアゲハ 1♂・1♀, 14-IV 新村。
10. アゲハ 1ex., 15-IV 小湊(目撃)。
11. シロオビアゲハ 1♀, 15-IV 小湊。  
この1♀のみで、他に目撃なし。

### シロチョウ科

12. モンシロチョウ 1♂・1♀, 14-IV 城。
13. モンキチョウ 1♂, 14-IV 城。
14. ツマベニチョウ 1♂, 14-IV 新村;  
1♀, 15-IV 小湊

### シジミチョウ科

15. ウラナミシジミ 1♂, 15-IV 小湊。
16. アマミウラナミシジミ  
1ex., 15-IV 小湊(目撃)。

17. ヤマトシジミ 1♂, 15-IV 小湊。

18. シルビアシジミ 1♂・1♀, 15-IV 小

### タテハチョウ科

19. イシガキチョウ 5♂, 14-IV 城。
20. ツマグロヒョウモン  
2♂・3♀, 15-IV 小湊。
21. リュウキュウコミスジ 1♂, 14-IV 城。
22. アカタテハ 1ex., 15-IV 小湊(目撃)
23. ルリタテハ 1ex., 15-IV 小湊(目撃)

### テングチョウ科

24. テングチョウ 1♀, 15-IV 小湊。  
小湊には多産。

### マダラチョウ科

25. アサギマダラ 1♂, 14-IV 新村。
26. リュウキュウアサギマダラ 1♀, 14-IV 城; 1♀, 15-IV 小湊。

### ジャノメチョウ科

27. ヒメジャノメ 3♂・1♀, 14-IV 城。
28. ウスイロコノマ 1♀, 15-IV 小湊。  
この1♀のみで他に目撃なし、秋型、  
越冬個体。  
(つづく)